



## 投票日の翌日こそが本当の始まりである

これはロバート・ライシュ・カリフォルニア大教授が、「格差と民主主義」で説いている言葉です。当選した政治家に具体的政策に取り組むよう働きかけていくべきとの意味です。私たちの生活は、政治によって決定されている事柄が多くあります。国政に関心を持ち続けましょう。

## 子ども医療費助成、小学生に拡大 自己負担1割 実施時期2016年4月1日

11月議会に子ども医療費助成の条例改正案が提案されています。

その中身は、①通院の助成対象年齢を就学前から小学校6年生まで拡大する②拡大する小学生の負担を現行の3割負担から1割負担に軽減することです。子ども医療費助成制度の拡大に異論はありませんが、その実施時期が一年以上先の2016年4月1日になるという説明には納得できませんでした。

担当者から詳しい説明を聞いたところ、①単県医療費助成制度のうち「心身障害者医療費助成制度」と「ひとり親家庭等医療費助成制度」の対象者との重複を避けるために、来年7月確定する両制度の対象者を除外して、子ども医療費助成制度の申請書発送をすること②医師会が、年度初めから実施という意向があった、この2点の理由で実施時期が決まったようです。

システム整備に6ヶ月かかっても、単県医療費助成制度の所得制限額が7月に確定されたとしても、2015年度途中の実施は可能ではないかと説明を聞いて思いました。そのことをぶつけてみると、2016年4月実施で、岡山県も医師会も納得しているとのこと。もう少し早くこの情報をキャッチしていたらと、残念でなりません。

今回の条例改正案には、実施時期が明記されており、この議会で条例を通し、補正予算を通さないと今以上に実施時期が遅れることとなりますので、条例改正案に賛成することにしました。

## 自転車走行のマナー教育を

ももチャリのポート増築、桃太郎大通りの自転車駐輪場や市役所筋の自転車走行レーンの整備など、今、岡山市の中心部では自転車の話題がたくさんあります。

自転車先進都市を目指す岡山市としては、ハード面整備と同時に市民の意識啓発というソフト面の取り組みも重要です。車道の右側通行は危ないし、大供交差点での自転車事故も大変多い状況です。市長は、個人質問の最終日に「ルール遵守について、市も真剣に来年度予算で考えたい」と答弁しました。

地域でいつも問題になるのは学生たちの自転車の乗り方です。お年寄りが歩いていて、自転車とぶつかりそうになって危なかったというお話をよく伺います。小学校、中学校、高校と自転車のマナーをきちんと教えていくこと、地域、家庭でもルールを守る大切さを話していくことが必要だと思います。

## マンション建設トラブルを防ぐ岡山市要綱 事前の説明・協議の対象者を拡大

10メートル以上の中高層建物を建てる際、事前説明・協議の対象者に隣接地所有者としていたものを、隣接地を敷地境界線から10メートル以内の水平距離の範囲内に変更し、新たに計画建物の外壁等から建物高さの水平距離の範囲の所有者が加えられることとなります。

事前説明・協議の対象者の範囲が狭すぎるという声は以前から、議会でも出されていました。マンション建設を巡る地域の切実な声を受けた質問が、くり返されてきたのです。対象の拡大はいいことですが、事前説明・協議で住民の理解を得る事業者の誠実な姿勢がもっとも大切だと思います。

### 下市このみ事務所からのお知らせ

▼12月25日(木)まちづくり～おしゃべりネット♪  
10:00～12:00 下市このみ事務所

※年末年始お休み

下市このみ事務所 12/27(土)～1/4(日)

野菜市 年内最終営業 12/24(水)・初売り1/7(水)

来年もどうぞよろしくお祈りします。